

## 令和4年度 卒業式式辞概要

- この市尼での3年間は「正しく、強く、美しく」という理念のもと、文武両道をモットーとして学業は勿論、部活動や学校行事等に懸命に取り組み、心と体を成長させたかけがえのない3年間。職員一同、逆境にあっても何事にも懸命に取り組むみなさんの姿に敬意を表するとともに、さらなる飛躍を期待している。
- 保護者の皆様、本日はお子様のご卒業、誠におめでとうございます。本校での3年間を終え、心身ともに立派な成人に成長されたお子様の姿に感慨もひとしおのことと存じます。お子様の在学中はコロナ禍でもあり、PTA活動をはじめ、本校の教育活動に対して、多大なるご理解とご協力ご支援を頂きましたことを心よりお礼申し上げます。
- 思えば新型コロナウイルスの感染拡大により入学式は屋外のテニスコートで実施され、しばらくは臨時休校という高校生活の始まりだった。コロナ禍は続き、この3年間は部活動や学校行事においても様々な制約があり、思う存分活動できないことがあった。しかし、このコロナ禍で学んだことも多くある。その中の一つが、友達や先生など自分以外の人の存在のありがたさ、そして人と人とのつながりの大切さである。会いたいのに会えないつらさを多くの人が味わった。友達や先生の存在、日々共に生活している中で何気なく友達や先生とコミュニケーションをとっていたこと、つまり人と人とのつながりが当たり前ではなかったことを思い知らされた。
- コロナ禍にもかかわらず市高祭や体育祭、部活動やボランティア活動においても限られた練習や活動の中、素晴らしい成績を残しただけでなく、記憶に残るプレ

一や演技、工夫をこらした作品や活動内容などを創り出すとともに、最後まであきらめないその姿勢で随所に市尼の良さをアピールしてくれた。市尼生としての誇りを持ち、懸命に努力し続けたことはもちろん、顧問や担任の先生、保護者の皆様をはじめ、多くの方々の支えや協力があったからである。その支えや協力に対する感謝の気持ちを忘れずに、次は誰かを支える番になってほしい。

○これから進む道は様々で、新しい世界に期待とともに不安も抱いているであろう。

「自分の人生は自分で選ぶべきである」という話をしたい。

これからの長い人生の中では正解がわからない選択と決断をしなければならないことが幾度となくある。自分で選択と決断をせずに他人に委ねたとしたら、その時は悩むこともなく楽かもしれないが、結果の責任は自分がとることとなる。選択と決断は悩みながらも自分の責任において行うべき。信頼できる人のアドバイスをもらったり、信頼できる情報を集めることも大切なこと。そういったことを参考にしながらも、最終決断は自分で行うべき。自分で決断したことなら困難なことに出会っても、その困難を乗り越えるために取り組むことができる、他人に委ねた決断はどこかで他人のせいにしてしまったり、非常に後悔をしてしまったりする。自分で決断したとしても必ずうまくいくとは限らない。むしろ、うまくいかなかったり、いい結果が出ないことが多い。

○徳川家康が言っている。「勝つことばかり知りて 負くることを 知らざれば 害その身に至る」家康は数多くの戦乱を経験し、大敗を喫することも多く、あわや命を落としそうなこともあった。数多く負けたその経験が用心深い戦略や、失敗してもめげずに粘り強く事を進める姿勢を養い、やがては日本を統一したと言われている。家康は、勝ちばかりでは、人に害を及ぼすので、負けを味わうこと

つまりうまくいかないことを経験することの大切さ、いわば敗北を知って強くなるということを説いている。自分で決めたことなら、今までのやり方や考え方を  
変えるなどして、自分で納得して努力し続けることができる。たとえ結果が出な  
くても、その努力によってついた力は自分のものとなっているので、その後の人  
生の中で他のことに挑戦したときなど、思いも寄らない場面でその力が発揮され  
たりすることがある。

○人が思い悩むことの根本は「思い通りにならないこと」を当たり前だと思えない  
ことにある。「世の中は思い通りにならないこと、予想外のことが起こるのが当  
たり前なんだ」と肝に銘じておくこと。さらにどんなことが起こってもそれを受  
け入れ、自分のできることを考え、前向きな気持ちで実行していくことと、失敗  
しても粘り強く事を進める姿勢を持つこと。そうすれば必ず希望の光が見え、自  
分自身も成長することができるということを忘れずに。このコロナ禍を乗り越え  
てきたみなさんならきっとできるはず。

○どんな生き方であれ「自分で人生を選んでいる」という堂々とした態度こそが、  
自分の道を自分らしく生きる根っこになる。「好きだから」「やりたかったから」  
「あの人のようになりたいから」理由はそれで充分。理由がシンプルなほどエネ  
ルギーやパワーは強いと言われる。自分の感性を信じる。そして、必ず最後は自  
分で選び決断をして自分の人生を切り拓いてほしい。

○最後に、この伝統ある市尼で三年間、ともに学び、ともに喜び、ともに悩んだ仲  
間や先生達との何物にも代え難いつながり大切に。これまで18年間、みなさ  
んを様々な場面で支え、励ましながら大切に育ててくださった保護者の方への感  
謝も忘れずに。皆さんが市尼の卒業生という誇りを胸に、夢や志に向かって信じ

る道を自分自身で選び、これからの人生を歩むよう願ってる。皆さんの前途に輝かしい未来が訪れることを祈念し、式辞とする。

令和5年3月1日

尼崎市立尼崎高等学校

校長 東 政信

